

Network

診療科紹介

広島共立病院 小児科の現況

～安佐南区唯一の小児入院ベッドを有する病院～



広島共立病院
小児科医長
東 浩一

近隣の開業医の先生からのご紹介のおかげで、平成6年からこれまで5,000人近い入院患者を治療してきました。喘息、気管支肺炎、細気管支炎、急性喉頭炎などの呼吸器疾患、嘔吐下痢症、腸重積などの消化器疾患、髄膜炎などの神経疾患に加え、川崎病など幅広く対応してきました。当院入院患者の特徴としては、乳幼児が多いことです。冬は、RSウイルス細気管支炎の流行期には2つある酸素テントがフル稼働することもしばしばです。

当院外来の特徴は、というと、てんかん患者が多いことです。これまで100例以上の患者の治療を行ってきました。

また、食物アレルギーについて、最近では、原因食品を除去してアレルギー症状を抑えるよりも、どうやって摂取できるようにするか、すなわち耐性を獲得させるかが治療のポイントになってきています。当院では、1年前から、経口免疫療法として、1週間程度の入院による食物アレルギーの急速減感作療法も行っています。5歳以上で耐性獲得ができそうもないアナフィラキシー型の子供が対象です。これで、どのくらい耐性ができているかがわかりますし、その結果をもとにして、治療指針をたてることができます。外来では、乳児から食物負荷テストを行っています。これは、不必要な食物除去をやめることが主な目的です。

成長障害も扱っています。成長ホルモンの低分泌

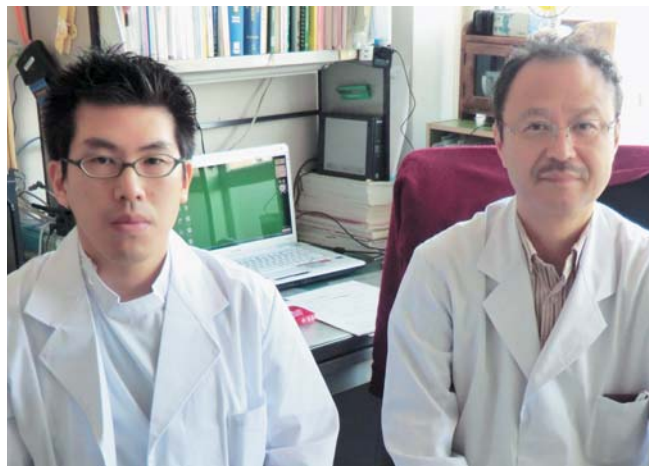
や甲状腺機能低下など、成長障害の原因もいろいろあり、検査を行っています。成長ホルモン補充療法も20例近い実績があります。

また、夜尿症の治療もおこなっており、多尿型、膀胱型、混合型など病型にあわせて、アラーム療法、抗コリン剤内服療法、デスマプレッシン点鼻療法などを行っています。

心身症、学校不適応症候群につきましても、カウンセリングを行っており、必要に応じて専門施設を紹介していますので、お気軽にご相談ください。

その他、発達障害につきましても、発達検査、言語の遅れに関しては言語訓練、指導も行っています。

広島共立病院小児科は、平成23年2月から常勤医師が一人増えて、2人になりました。これからは、入院医療を強化しつつ、ますます、地域の小児医療に貢献する所存ですので、皆様のご支援、よろしくお願い申し上げます。



▲小児科医師
2月から着任の森下直人医師(左)、東浩一医長(右)

婦人科外来診療再開にあたり

広島共立病院 院長 村田裕彦

このたび、広島大学産婦人科教室のお計らいで、外来診療を再開する事になりました。当院での婦人科常勤医師は実に18年ぶりとなります。着任される医師は、安佐市民病院で長らく主任部長を

務められた三田尾賢先生です。外来だけの診療ですが、先生の豊富な臨床経験を生かされた質の高い医療が提供できると思っております。他科と同様によりしくお願い申し上げます。

診療科紹介

広島共立病院 婦人科

～18年ぶりの婦人科診療再開～



婦人科医長
三田尾 賢

2011年4月より、婦人科を担当させていただきます。

1977年鳥取大学を卒業し、広島大学病院、呉共済病院、北九州総合病院にて研修を行いました。

1983年2月から1年半、コロンビア大学にて子宮頸部前がん病変とヒトパピローマウイルス

の関係についての研究を行っていました。

1984年9月、広島市立安佐市民病院に赴任しました。以後26年間勤務していました。この数年の安佐市民病院の勤務は、外来診察を月、火、木曜日の午前・午後と金曜日の午前中に、水曜日は手術を行っていました。分娩当番は待機ですが、月に6回していました。夜の分娩は体力的に疲労が残るようになりました。

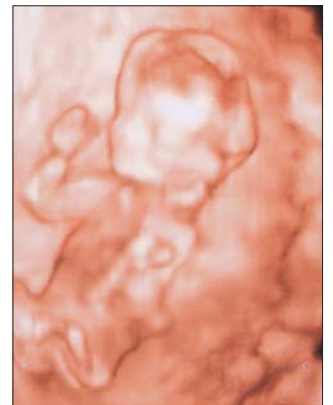
この度、広島共立病院に勤務させていただくことになりました。広島共立病院は、1987年から6年間婦人科外来が開かれていましたが医師不足から中断され、現在は週2回の婦人科健診のみ行われています。今回、分娩・手術など入院が必要な医療は行わず、外来診察のみさせていただく事になりました。このため、妊婦健診は30週程度まで診察し、その後は分娩施設に紹介させていただきます。婦人科疾患におきましても、診断と内服注射など外来治療を行います。手術が必要な場合には、他施設に紹介させていただきます。これまで勤務していました広島市立安佐市民病院はもとより、広島市民病院の先生方との医療連携も円滑で、紹介も問題なくお願いすることが可能です。

診療再開に伴い、婦人科外来は改装し、超音波を

はじめとし種々の器機・器材も新たに購入いたしました。人間ドックも婦人科を含めた検診をしていただくことにより、全身的な検診が可能になります。患者さんにとって外来での十分な診察・診断・治療をさせていただけると思っております。

安佐市民病院の外来では、妊婦健診では胎児の3D超音波画像を見ながら胎児の手足の動きや唇動きなど胎児からのメッセージを楽しんでいました。また、更年期やその後の体調・精神的な不安定の話も聞かせていただけていました。しかし、分娩、手術、急患など忙しく患者さんのお話に十分耳を傾けることができずして、電子カルテ入力が大変で、患者さんもこの入力画面を読み納得される状態でした。入室される様子、顔と顔を合わせて話を聞く、声の調子に注意するなど人と人の関係が希薄になっていたように思います。

広島共立病院では一からのスタートです。ゆったりとお話を聞かせていただく事ができると思います。なかなか受診がためられる産婦人科ですが、気軽においで下さい。



東北地方太平洋沖地震にあたり

広島共立病院 院長 村田裕彦

未曾有の被害を生んだこの度の「東北地方太平洋沖地震」により、犠牲になられた方々へ心から哀悼の意を表します。また、被災された全ての皆様に心からお見舞い申し上げると共に、被災地域の日も早い復興を祈念いたします。そして、ご自身やご家族が被災しておられながら、不眠不休で被災者の救護や診療に取り組んでおられる現地の医療関係者をはじめ諸機関の皆様に対して、心から敬意を表します。

当院では、2011年3月14日に対策本部を設置し、現地への支援策の検討を開始致しました。まず緊急支援として、義援金送付、生活物資支援および医療支援班の派遣を行っております。医療支援班は、全日本民主医療連合会（民医連）の支援に参加しています。支援は短期のみならず長期が必要です。JMAT（日本医師会災害医療チーム）にも登録をし、引き続き支援に最大限力を尽くしたいと考えています。

今回の大震災では、経済的損失は甚大であり、医療の分野でも大きな影響が予想されます。今後とも、国民の医療を守る立場で、活動していきます。



▲物資輸送隊
3月18日出発

◀医療支援班
第二陣
4月3日出発

災害支援報告

広島共立病院 手術部 看護師 丸岡宏美

私は、東北関東大震災の被害状況をテレビで見たとき、目を疑うような悲惨な光景に、ただ啞然としてテレビから目が離せなくなりました。災害の起こった当日は眠ることが出来ず、今以上に死者が増えないでほしいとひたすら願っていましたが、その願いも届かず、どんどん死者・行方不明者の数が増え、テレビの前で何も出来ない自分が悔しくてたまりませんでした。同じ日本人として何かしなくてはいけないと思い、今すぐ出来ることは何かと考えたとき、看護師として支援に行くことだと思っていました。そんな時、病院から支援を出すことを聞き、すぐに行くことを決意しました。

今回私が行った支援は、坂総合病院（宮城県）での救急外来処置室での支援でした。坂総合病院は災害拠点病院として全国の病院から多くの支援が駆けつけていました。坂病院から数分歩いたところはテレビで報道されているままの様子で、クリニックも流されていたり、周りの病院はまったく機能しておらず、救急患者さんは坂病院に集中しているという感じでした。職員の方の多くも被災者であるということでした。そのような状況にも関わらず現地のスタッフの方は患者さんや支援スタッフに対し、大変気丈に振る舞われており、またなんでも聞ける安心した雰囲気でした。現地スタッフ・支援スタッフが初めて一緒に働くとは思えないほど連携がとれ、円滑に業務が運んでいたように感じました。

患者さんは、被災・避難所生活など環境変化による健康状態の問題が多く、来院された人たちみなさん、表情は暗く疲れきっている様子でした。そんな様子でも私が広島から支援に来た

ことを名札で知ると、今の過酷な生活状況や辛い気持ちをたくさん話してくれました。私はただ傾聴しかできませんでしたが、少しずつ表情が和らぎ、「ありがとう」と言われることもありました。全国の人が、被災者を支えていこうと努力をしているということが伝わり、少しでも心のケアができたのではないかと思います。

災害支援ナースの役割は、被災者が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供することと、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めることです。災害が起こった時、ほとんどのライフラインが遮断されてしまいますが、まず初めにできることは人道支援だと思います。とくに医療に携わっている人だからこそすぐに出来ることや、その職種でしか出来ない支援が多くあります。もし自分の周りで起こった場合、自分も被災者であるにも関わらず、医療に携わっている人は働かなくてはなりません。そんなとき全国からの支援は本当にありがたいものだと思います。これからは災害中期～後期健康被害が増え、それは長期に渡ります。これからも支援を継続的に行っていくことが大切だと思います。

医療支援班▶
第一陣
3月17日出発
左端が
丸岡看護師



理念 患者の人権を尊重した安全・安心で信頼される医療を実践します。

基本方針

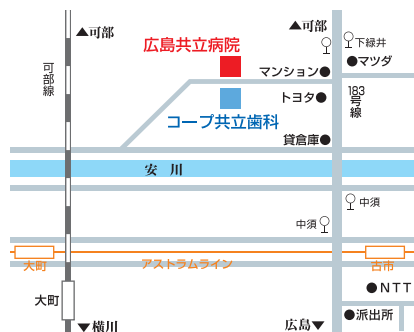
1. 常に医療水準の向上に努め、質の高い医療を提供します。
2. 患者・住民との共同の営みをすすめ、無差別・平等の医療をおこないます。
3. 地域での、保健・医療・福祉のネットワークづくりに貢献します。
4. 職員教育を重視し、いきいきと成長する専門職を育てます。
5. 平和をつくり、社会保障を守り発展させる活動を強めます。

第17回 広島共立病院オープンカンファレンス

- と き：平成23年6月8日（水）19時～
- と ころ：広島共立病院7階
- 内 容：症例検討会 なお、終了後、懇親会を予定しています。

診療案内 第2・第4土曜日を休診にさせていただきます。 **予約制** とは事前予約が必要です。 **予約可** とは予約無しでも受診可能です。

	診療開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土	
健診	(市・被爆者・政官健保等各種健診、人間ドック他) ①乳がん検診	予約制	①青木	青木 被爆者外来 2時～5時 青木	山田 ①青木	丸屋 青木 ①青木	寺谷 ①青木	1.3.5週 三田尾 ①青木	
禁煙支援外来	午後(担当医 青木)	再診のみ 予約制	2時～外科外来	12時～健診外来					
内科 <small>(当院に初めて受診される方は、予約制ではありません)</small>	午前9時～11時30分	初診(再診) 予約可	寺谷・山田 迫本	寺谷・山田 中村	山肩・加太 ウオン	寺谷 三田尾	中村・山田 迫本	1.3.5週 ウオン・山田 鷹屋	
		循環器内科 予約制	鷹屋		村田・鷹屋		村田	1.3.5週 村田	
		呼吸器内科 予約制		木山					
	午後5時～6時30分 (定期通院されている) 予約の方のみ	消化器内科 予約制	三田尾	西原	三田尾	西原	加太		森下
		糖尿病内科 予約制	森下		森下		森下	1.3.5週 大谷	
		呼吸器内科 予約制				木山			
午前9時～11時30分	循環器内科 予約制				鷹屋				
	消化器内科 予約制				西原				
	糖尿病内科 予約制				森下				
精神科	午前9時～11時30分	予約可		辻					
リハビリテーション科	午前9時～11時30分	理学・作業・言語・物理の各療法	○	○	○	○	○	1.3.5週 ○	
外科	午前9時～11時30分 ※第3土曜日 (予約のみ)高永甲	予約可	大田垣	高永甲 野間	高永甲 10時まで 迫川 乳がん検診 予約制 2週を除く 高永甲	高永甲 大田垣	青木 迫川	1週 高永甲・野間 3週 大田垣・迫川 (予約のみ)高永甲 5週 交替	
	午後3時～4時30分		2時～ 青木				高永甲	午後休診	
脳外科	午後2時～4時30分	予約可					広島大学		
整形外科	午前9時～11時30分	予約可	市川 田尻	田中 森	中林 森	市川 田中	田中 田尻	1週 田中・田尻 3週 市川・森 5週 交替	
	午後4時～6時30分	(①リウマチ) (②手・肘)		1.3.5週 市川 2週 森・4週 田中 田尻		數佐(かずさ) 森		午後休診	
小児科	午前9時～11時30分	①小児一般	①東	①森下	①東	①森下	①東	①1.5週 東	
	午後2時～3時	②アレルギー 予約制	②森下	②2時～6時 東	②3時～4時30分	②東	②2時～2時45分 森下	②3週 森下	
	午後3時～4時30分	③予防接種 予約制	③森下	③3時～6時 森下	1.3.5週 森下 2.4週 東	③東	③森下	午後休診	
	午後5時～6時	④乳児健診 予約制							
眼科	午前9時～11時30分			平田		曾根			
泌尿器科	午前9時～11時30分	予約可	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	1.3.5週 山崎	
	午後2時～4時30分		山崎		山崎			午後休診	
耳鼻いんこう科	午前9時～11時30分		築家	築家	築家	築家	築家	1.3.5週 築家	
	午後3時～4時30分		築家			築家	築家	午後休診	
皮膚科	午前9時～11時30分	予約可	亀頭						
	午後2時～4時30分	予約可			戸田		田中		
婦人科	午前9時～11時30分	子宮がん検診 予約制	三田尾	三田尾	三田尾	佐能 (健診のみ) 9時～12時	三田尾	毎週 広島大学 (健診のみ)	
	午後2時～4時30分		三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾		



広島医療生活協同組合 広島共立病院

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目19-6
TEL.082-879-1111 (代)

URL <http://www.hiroshimairyo.or.jp>
E-mail kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp